

市長と語ろう！笠間タウントーク 第1回 議事録

開催日時 平成21年5月29日（金） 午後7時～8時30分
開催場所 笠間公民館 2階 会議室
参加者 市民 23人

《フリートーク（意見交換）》

1. 笠間市山王下道路の整備について（事前意見等の回答への再意見等）
2. カーブミラーの設置要望等について
3. 石井地区の将来的な土地利用について
4. プライバシーについて
5. 子育て支援事業について
6. 独居老人に対する支援策について
7. 広報お知らせ版の全世帯配布について
8. 国道355号バイパス整備の進捗状況について
9. 陶炎祭（ひまつり）と笠間市の今後の関わり方について
10. 笠間駅前広場の整備について
11. 土地改良事業について
12. バイオ燃料の利活用事業について
13. 免許返還者（高齢者）へのタクシー券の補助について
14. 郵便局等との連携による道路・災害情報の収集について

《内容》

1. 笠間市山王下道路の整備について

【事前質問と回答】

質問番号1 笠間市山王下道路の整備について

石井北部・寺崎土地区画整理事業に伴う幹線道路（来栖寺崎線）を起点として、国道50号の笠間市総合公園入口までの延長700mの都市計画道路（土地区画整理事業地内の220mは既に整備が完了し、残りの480mが現在未整備）で、農業振興を図るため農業幹線道路整備を、早急に取り入れるよう検討してほしい。

回答（担当課：笠間支所道路整備課）

この路線につきましては、目的が宅地開発計画に伴う道路整備計画で市街地まで結ぶ幹線道路整備計画です。今後は、宅地需要の状況や周辺市街地の住宅化の進行状況などを勘案しながら、面的整備を視野に入れながらの検討が必要かと思いますが、現在の社会経済情勢を合わせ見ますと、すぐに事業化（道路整備）することは難しいものと考えられますので、ご理解をいただきたいと思っております。

【意見等】

事前質問への回答の1については、現状を見て回答しているのかお聞きしたい。

同意書と要望書を出しているが、2年も経って同じだということは、要望しても何も聞いてくれないのか。

農業をやっている困っている。農業機械入る所まではやってくれと要求していて、それをやらしてもらわなくては、農地を放棄するしかない。こういう回答では納得がいかない。方針転換して、基盤整理をしてもらいたい。

【回答】

あそこは都市計画決定してありますけど、都市計画道路は50号線との関係から考えると、建設はできません。都市計画道路としてできないなら、別な方法を使ってとなると、都市計画道路を決定したのをまず廃止しなくてはならず、手続きが必要で多少時間がかかってしまいます。

方針転換が必要かと思いますが、これもまだ役所の内部で方針転換するという決定をしていないわけですから、組織なので、市長が方針転換だと言え、ぱっと変わる問題ではないのです。

絶対に転換しますとは言えないですけども、内部で協議はしてみます。

都市計画道路を決定して、できていない道路というのはほかにもありますから、そこも含め内部で協議をしてみます。

2. カーブミラーの設置要望等について

【意見等1】

笠間公民館の周辺の安全確保について、3件要望を出している。側溝のふたについては、予算がないのか15mくらいしか整備していない。カーブミラーも要望を4基出して1基しか付けてない。ぜひとも早く付けてほしい。

最近、大型店舗ができて、交通事情が変わり、大通りではない細い道に車が入ってくる。そういう交通の問題について警察に行ったら、市民の署名がなければ警察署はやらないと言うが、それは行政からやってもらいたい。

【回答1】

カーブミラー、側溝の有蓋工事については、ブロック工事という軽微な補修で、順次修繕をしているところです。歩行者に危険があるような場所に関しては、優先的にふたをかけています。

カーブミラーについては、笠間市内全域である程度数が出てから発注するものですから、ある程度の期間はいただきたいです。現地在危険な状態のところであれば、付けてあると思います。まったく現地を確認していないということはありませんので、もう一度担当の者に確認します。

カーブミラーとU字溝のふたは、設置していないところが確かにあります。確認して、必要なものは設置するようにします。

一方通行については、そこに住む人の合意形成をどうやってとるのが重要です。時間帯の規制は、よく確認してみます。

【意見等2】

ミラーの設置の位置で、ミラーの必要でないような高い位置に付けてあるものがある実際にミラーの高さは決まっているのか。何とかしてもらいたい。

見えにくいカーブミラーについて、国道の場合は、どこに連絡したらいいのか。

【回答2】

ミラーの設置の高さについては、地元の区長さんからお話があって設置したと思いますので、高さが適当なのかどうか、確認してみます。

カーブミラーの件に関して、それと市道だろうが国道だろうが、必要なときは、役所に話してください。役所から必要な機関に連絡します。

3. 石井地区の将来的な土地利用について

【意見等1】

体育館の周辺は、大規模開発が進んでいるが、以前笠間公民館で、この区域をどうしようかという説明会があった。たまたま出られず、後で市に聞いたら、「農振（※農業振興地域）がかかっているところをどうしようか」ということの話だった。その後、市の農政課で、周辺農家へのアンケートがあった。ほとんどの方が、田んぼはもう作りたくない、作れない状況だといいます。そういうアンケートを踏まえて、市で、えんじゅ通りから体育館の前、石本病院のあたりまでの区域を、近い将来どういう土地の利用を考えていくのか、意見がどういう方向でいこうとしているのかを聞きたい。

【回答1】

農振の解除と都市計画マスタープランの説明会の話だと思います。今、手続き中で、農振の解除になる方向です。

【意見等2】

農振の解除をすると、宅地化が容易に進むということか。

【回答2】

今は農地にはなっていますから、農振は外しても、農地を転用していくという手続きは必要です。今までよりは、農振が外れるわけですから転用しやすくなることはあるでしょう。

【意見等3】

それはいつごろ決まる予定か。

【回答3】

時期的には、最終的には県に申請を出してということになりますので、今年の秋ごろになるでしょうか。

ここの石井地区だけでなく、岩間、友部含めた笠間市全体の中で、農振の見直しを行なっていますので、少し時間がかかるとは思います、今年中にははっきりするかと思います。

4. プライバシーについて

【意見等】

転入転出ということがあがるが、区長のところには届けていないということがあった。以前は転入した場合には、区長には「誰が転入しました」と連絡があったが、今は転出しても、区長にも班内にも連絡がなく、黙って行ってしまう状態が非常にある。区長は、町内のことはいろいろ明確にやっていると区長の立場がない。

役所に行くと、転入転出のことで個人の名前を教えられないということがあった。それでは、困る。プライバシーというのはどこまであるか。

【回答】

ご存知の通り個人情報保護法ができ、実際の現場での運用となると、その個人情報をあまりにもかたくなに守ると現場で動きができなくなる弊害がでてきて、国も弾力的な運用ということに変わってきました。

区長さんという公的な立場に立っている方からのお話であれば、今は弾力的に必要なものであれば教えるというようなことはしています。ただ、場合によっては教えないこともありますし、線引きはなかなか難しいところがあります。

個人情報スタートする前は、区長さんは地域の名簿を全部持っていました。今は持っていないと思います。転入転出も区長さんには、法律ができたことによって、今は連絡を入れていないです。ケースバイケースで教えることもありますので、大変でも必要なときは事情を役所に話してください。

転入の際に、例えば、「何区ですよ。区長さんにごあいさつに行ってくださいね。」ということは窓口から言います。

取りまとめ役の区長さんからすると、扱いづらいという現実があるのはよく理解できますが、法律ができる前のように名簿を全部出すということにはできないという現実もご理解いただければと思います。

5. 子育て支援事業について

【意見等】

みなみ公民館での子育てサロンに参加するお母さんたちから、「こういう場所がもっといっぱいあったらいいな」という声が何度もあった。こういった中で、ポレポレに親子が集える場所ができたというのは本当にありがたいと思う。しかし、さまざまな子育て支援事業の開催が木曜日に重なっているの、できれば調整してほしい。また、子育てサロンに参加しているお母さんに「一番心配なことは何か」と聞いたら、「出産する場所が近くにない」ということでした。できたら今後、出張所でもいいので笠間市内にも出産に対する医療体制を整えていただきたい。

【回答】

子育て支援センターは、基本は週3日開催で利用が多くなれば月曜日から金曜日まで開く考えは持っています。他と開催する曜日が同じだということは、その辺の調整ができていなかったと思います。

笠間地区はスタートしたばかりなので変更すると混乱が生じるので、一定の時期やってみて調整をしたいと思います。

産婦人科と小児科の問題は、子育て支援の中では医療機関も含めて同じようなご要望がありますが、なかなか手の打ちようがありません。産科が少ないという課題に対して、市としては県立中央病院の再開をお願いしている状況であります。

6月1日から笠間健康ダイヤル24がスタートします。これは子育てしているお母さん方が困ったときなど、電話での相談を24時間で受け付けて、専門化が的確に対応するサービスです。まだスタートしていませんが、それぞれの分野で相談に対応してくれますので、ぜひご利用ください。フリーダイヤルなのでもちろん無料です。

6. 独居老人に対する支援策について

【意見等】

最近、周りに一人暮らしの方が多くなってきて、今後も増える可能性がある。

そこで、笠間市では、何かあった場合、一人暮らしに対する支援策はあるか。また、あるのであれば、それをさらに充実させる考えはあるか。

【回答】

今後も現在の人口構成から見ると増えていくと思います。緊急のとき電話をかけると直接消防署につながるような電話を貸し出しています。また、安否確認ということで、例えば、ヤクルト屋さんがヤクルト等を配りながら安否を確認することを週に3日ぐらい実施しています。

どういう部分を充実させるとなると議論をする必要があると思いますが、一人暮らしの老人が一番不安に思うのは自分が倒れたときとか、将来的に介護が必要になったときにどうするのかであると思っているので、そういうときには行政がカバーしていかなければならないと思います。

7. 広報お知らせ版の全世帯配布について

【意見等】

広報お知らせ版があるが、かなり内容が複雑なのに早く回覧を回さなければならないという意識があり、読みきれない。これを各戸一部ずつ配布することができないか。

【回答】

合併して情報量が増えました。なんとかしなければならぬと思っていますが、全員の方ではないのですが、広報紙とお知らせ版はインターネットで見られるようになっていましたし、図書館などの公共施設にもおいてあります。毎週発行しているものなので、全戸配布については難しいと思います。

8. 国道 355 号バイパス整備の進捗状況について

【意見等】

国道 355 号バイパス整備について事前質問をしていますが、回答では、早期完成に向けて努力するという事になっている。どのぐらいの進捗状況なのか具体的に聞きたい。また、何年度に完成するという目途は立っているか。

【回答】

バイパスの位置付けとしては、笠間焼の大花瓶から国道 50 号までの間で、できているのは約 3 割です。

ひとつの路線で 2 箇所を同時に工事することは県事業ではありませんので、現在行っているのは石井橋の架け替えです。石井橋の架け替えがこの 21 年度中に終われば、石井神社から橋のところまでの拡幅を予定しています。用地買収は、だいぶ進んでいます。それが終われば、来栖飯合線のところから来栖（南）の方に入っていくことになっていて、用地買収も相当（90 パーセント）進んでいます。

あと何年かと聞かれると、明確に答えられないところにもどかしさを感じますが、今やっている石井橋と石井神社の部分を整備してその後、来栖のほうに入っていくというのが県と笠間市の考えです。

市としては、国道 355 号バイパス整備を最優先に国や県へ陳情しています。

9. 陶炎祭（ひまつり）と笠間市の今後の関わりについて

【意見等】

今年からイベントの名を「笠間の陶炎祭」となったが、今後、笠間市としてどういう関わりを持っていく考えか。

【回答】

県内でトップのイベントとして成長し、全国的にも非常に注目を集めている連休中のイベントだと思いますし、実行委員の皆さんの努力だと思っています。

私は、運営について口を挟むつもりは、全くありません。行政が関わる部分は渋滞対策だと思います。今年は実行委員会と協力して、友部駅から裏を通過して陶炎祭会場へ、陶炎祭会場とつつじ公園を連携させようということでシャトルバスを、また、笠間ショッピングセンターポレポレからシャトルバスを出しました。これが非常に好評でした。来年は 2 本にしようとか、そういう部分で行政は協力すべきだと思います。運営そのものについては実行委員会の皆さんでやっていた

だくのが一番だと思います。

1 0. 笠間駅前広場の整備について

【意見等】

笠間駅は雨の日などは通勤や通学ため、車で送ってくるのでごった返しになっている。今の広場を駐車できるように改良したり、バスが入らないので一般車が入れるような標識を立てたりすればよいと思う。

【回答】

今のところ、その考えはありません。

1 1. 土地改良事業について

【意見等】

基盤整備事業は何か組織化しないとできないか。国道 355 号と石本病院の通りの間の農地区画整理が行われていないが、それを具体的に土地改良するにはどういう方法でやればできるか。

【回答】

この地区は今のところ土地改良の計画はありません。一定の規模以上のエリアで地元の合意形成がおおよそ取れていれば、市も協力することができます。地元の合意形成に最初から市が入っていく場合もありますが、地元で取ってもらったほうが進みやすいと思います。土地改良をやるうという話が 15 年から 20 年ぐらい前にあって、結局まとまらなかった経緯もあります。

1 2. バイオ燃料の利活用事業について

【意見等】

バイオ燃料の利活用事業の調査費があるようだが、将来的には家庭の廃油回収にはつながらないのか。

【回答】

将来的にはそうしたいと思っていますが、今年度 1 年間かけて検討やいろいろ他の地域の調査を行いたいと考えています。

やはりどうやって家庭や事業所の油を収集するか、収集して精製した油を誰が利用するのか。売するのか、民間の方に何らかの方法で使ってもらうのか、その辺の仕組みづくりを 1 年間かけて検討しくことになっています。ひたちなか市と牛久市は、先進的な取り組みをやっていますから、視察をしながら進めているところです。

1 3. 免許返還者（高齢者）へのタクシー券の補助について

【意見等】

笠間市としては、免許証を返還した場合、タクシーの補助券等は考えているか。デマンドタクシーがあるからよいという回答になるのか。

【回答】

デマンドタクシーがあるからよいとは思っていません。笠間市で行っているのは、障害のある方に対するタクシー券の補助です。高齢者で免許を返還した方にタクシー券の補助をしたらどうかという意見ですが、全国の事例もあると思いますが、笠間市では考えていません。

1 4. 郵便局等との連携による道路・災害情報の収集について

【意見等】

道路など、災害の情報の収集を郵便局等と協定を結んでやっている市町村があると思うが、笠間市はやっていないと思う。かなり有効な情報が入ってくると思う。

【回答】

郵便配達員にお願いしてやってもらっているのは、通常、道路が陥没しているとか、不法投棄の情報をくださいとか、後は、例えば、独居老人で何か状況の変化があったときには、連絡くださいということをやっている市町村はあります。研究してみます。他の自治体を調べながら、できれば郵便局と相談してみます。